

大井九条の会

大井九条の会
事務局連絡先
83-2358 二上

11月12日の定例会では



11月1日の報道2930の抜粋を視聴し、少し討論しました。11月25日の集い当日に配付する説明資料等を検討して、その後、紙芝居「はだしのゲン」上演練習を行いました。

上の子が一歳になるくらいに大井町に引っ越してきました、まもなく8歳になるので約7年の月日が経ちました。振り返ると子育てに忙しくも日々充実していたと感じます。

ご縁が導く幸せ

今は大井中央公園ができ、出向けば誰かしらに会えそうな場所がありますが、引っ越してきた当初は近場の公園に行ってもひと組に会えたらラッキーくらいで、子どもたちはいったいどこにいるのだろう？と不思議に思っていました。そんな中、ヤオマサもしくは支援センターであそびばのポスターを見つけて、もしかしたら公園でうちの子くらいのお友達に会えるのかも！良かったね！と胸を弾ませながら向かったことを覚えています。行ってみると重田さんが快く迎えてくれ、そこにはたくさんの子どもたちが思い思いに遊び、その光景を見守る大人たちがいる優しい空間がありました。篠窪のあそびばでは焼き芋、猪鍋、釜炊きご飯をいただいたりと食への関心が高まる貴重な経験を得ることができました。また、改めて身体は食べ物で作られているのだということを考えるようになりました。またまたYouTubeで見つけた徳島県で自給自足生活をされている家族の日常を見て、さらに食への関心が増し、忘れがちな食べ物への感謝を思い出しました。徳島の自給自足の生活は知恵や知識、狩猟の資格がある中에서도探求心があり憧れますが、到底マネできません。

大井九条の会 平和の集い 平和への思いを語る会 ～紙芝居「はだしのゲン」を大スクリーンで～

I 部 紙芝居「はだしのゲン」(作・絵 中沢啓治) 上演
II 部 平和への思いを語る(参加者のみなさん)
グループごとに話し合ってください

日時: 2023年11月25日(土) 14:00~16:00
場所: 大井町生涯学習センター 第1~2会議室
参加費: 無料
主催: 大井九条の会 連絡先 0465-83-5875 田村 0465-83-2358 二上

ただ、徳島の前は神奈川県に住んでいた方がどうい

日本国憲法 第二章 戦争の放棄
第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
第二項 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

次回定例会
12月10日(日) 14時
生涯学習センター第4会議室

てこの生活を？という関心から調べてみると、一つに青森のりんご農園を営む木村さんという方の存在が影響されているということが分かりました。

そこで木村さんを検索すると、「絶対不可能」を可能にした農家木村秋則氏に学ぶ、奇跡を起こすための「ヒント」という記事を見つけました。

木村さんは青森県弘前市生まれの方で、奥さまが農業で身体を壊したことをきっかけに帰郷しりんご栽培を中心とした農業に従事。10年の歳月をかけて完全無農薬無肥料のりんご栽培を可能にしました。

この記事から木村さんの人間味が感じられるのでぜひ読んでいただきたいのですが、少しご紹介すると、絶対不可能を可能にする過程には、身内との衝突があり、トンネルの中で出口が見えない状況でも「必ず答えはあると信じること」、周囲がどれだけ批判しようとして「自分を信じてくれた奥さまやお袋さんの存在」のどちらも必要不可欠だったそうです。



そして、作物を作られている方は必ず遭遇する動物問題。このあたりはイノシシやハクビシン、サルですかね。木村さんもタヌキの悪さに悩まされたそうですが、逆の視点で我々がタヌキの栖にお邪魔しているのだと考えるようにして対策を練ったそうです。中でも名言といえる「土いじりは手が汚れるけど心の角はとってくれる。それが幸せにつながっていくと思う。」は心を打たれました。

まさしくうちは、以前住んでいた二宮町で畑を借りたのをきっかけに、夫が土いじりに目覚め、現在では山の麓に畑を借りて、趣味程度に旬のものを育てています。

食の大切さに気づかされたあそびばのきっかけによって、幸せをたどる道しるべを見つけたような気がします。

大井町に引っ越し、子どもを通じて出会えたご縁を大切に、自然に感謝を忘れずに過ごしていきたいと思えます。拙い長文を読んでいただきありがとうございました。

匿名希望・30代女性